

平成26年度 第23回政策推進会議報告

日時 2月23日 9時30分～10時13分

場所 4-1会議室

出席者 19人

1 都市計画道路網見直し方針（素案）・都市計画道路整備プログラム改訂版（素案）に対する市民意見公募手続きの結果及び都市計画道路網見直し方針・都市計画道路整備プログラム改訂版の策定について

都市整備局長から資料に基づき報告。

- ・寄せられた意見に、阪神国道線については、近年、自転車専用道路の必要性が高まっており、県立病院が新設されることもあることから、交通量増加を見込んで現計画のまま存続すべきであるとあるが、これは自転車の交通量が増えるということか。あるいは車の交通量を指しているのか。

県立病院ができることによって、自動車と自転車両方の交通量が増えるだろうという意見である。

- (市長) 五合橋線についてはセットバックがかなり進んでいるところもあるということで、地元の方からは、車道の拡幅までは行わなくても、歩道や自転車がすれ違えるように活用して欲しいという声がある。現計画は本来車道を拡幅するという計画であるが、市の考え方にある「現計画のまま存続する」というのはどういう意味か。

都市計画を修正しないという意味で、計画幅員の25メートルのままとするものだ。都市計画では西側に7メートル広げることになっているが、道路そのものを変えようとするとは中心線から変えなければならず、非常に大きな工事となる。都市計画は修正せずに置いておくと、今のところ道路整備については着手する見込みはない。

- ・資料-2の交通需要推計によると交通量の減少が見込まれるようだが、車線数は見直さないということでもいいか。

県立病院ができることにより、右折レーンを取るなどの改修工事を進めている。そういった工事については行うが、都市計画そのものについては現行のまま置いておく。

- (市長) 車両交通については現道で処理することができるが、歩行者及び自転車、車椅子等の交通については交通量の増加が見込まれるという表現があるので、車線は現道のままとし、残りの部分については今後考えるというように読める。工事着手するところまではいかないけれども、一旦置いておき、様子を見ようかということか。

そのとおりである。

- (市長) 今回のポイントは、計画決定を外さずに今後可能性のある選択肢を残すことにしたということだ。

2 尼崎市スポーツ推進計画後期計画(素案)に対する市民意見公募手続の実施について

教育長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・取組方針の2つの柱の1つに競技力の向上とあるが、計画の期間が平成31年度(2020年度)までということで、偶然にもオリンピックの年にあたる。スポーツに取り組む姿勢はこの計画のとおりだと思うが、やはりこの5年は特別であり、オリンピックに関する意見もいろいろと出てくるのではないだろうか。

確かにオリンピックを目指してという部分もあるが、あくまでもこの計画は尼崎市のスポーツ推進をうたっており、生涯スポーツをもっと広げていき、その中で優れた能力を持つ方がオリンピック等にもつながっていけばありがたい。

(市長)議会からも今後、例えばオリンピックで外国チームの練習場を誘致する等、オリンピックという祭典と市制100周年をうまく関連づけてムードを盛り上げようという意見が挙がると思われる。市立尼崎高等学校にも期待されている若手がいたりするので、前文などに盛り込むなど工夫の余地があるのではないだろうか。オリンピックをうまく位置づけるのもありかと思う。

- ・改正素案の「4 障害者 ~ 障害者スポーツの普及・振興」には東京オリンピック・パラリンピックについての記述がある。

オリンピックについても盛り込めるように工夫したい。

(市長)パブリックコメントを行うとどうしても施設整備の要望があがってきてそうだ。一方で、これからやってみたいスポーツにはヨガやウォーキングというように、いわゆるスポーツ施設でなくてもできるスポーツを希望されている市民の方がたくさんいるというデータもある。

- ・基本理念に「気軽に・いつでも・どこでも、安全にスポーツを愉しむことのできる快適な空間づくり」とあるが、施策体系や前期計画の実績及び評価を見ていると、施設が必要なスポーツを基本に考えているように感じる。例えば、公園整備のワークショップをすると、子どものための遊具だけでなく、健康遊具を入れてほしいという意見も多い。具体的な施設整備の内容よりも、もう少し施設整備に対する考え方や方針を出した方がいいのではないか。

(市長)子ども・青少年に係る空間づくりのところに少しそういった記述があるが、全世代に当てはまることだろう。

審議会でも意見が出たが、歩いているだけではスポーツじゃないと思っている人もいる。スポーツをしていますかという問い方自体も難しい。ラジオ体操を毎朝していても、自分ではスポーツをしていないと思っている人もいるが、もっと気楽にいろいろな形で体を動かそうというのがこの計画の基本理念である。

(市長)時代背景と後期計画の位置づけではそのあたりのことについて触れているが、もうちょっと前面に強調して言ってもいいかもしれない。スポーツに限ったことではないが、情報をフェイスブックで発信するなど新しい試みを色々としている。外郭団体に丸投げをしていた時期もあるが、外郭団体のスタッフの専門性と計画をしっかり作る市との連携が大事だと感じている。スポーツ振興事業団の自主事業の取組も紹介していきたい。

3 その他

- ・経済環境局長から、ロボカップジュニアジャパンオープン 2015 尼崎大会について説明。
- ・顧問から、第 2 回未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会尼崎大会について報告。

以 上